

# 第32軍司令部壕保存・公開基本計画

## 骨子（素案）

### 第1章 第32軍司令部壕について

- 1 沖縄戦の概要
- 2 沖縄戦と第32軍司令部壕
  - (1) 第32軍司令部壕構築の経緯
  - (2) 第32軍司令部壕の構造
  - (3) 第32軍司令部壕内部の様子
  - (4) 第32軍司令部壕の役割

沖縄戦と第32軍司令部壕の構造や役割等について記載する。

### 第2章 基本理念

- 1 保存・公開の背景
- 2 保存・公開の意義
- 3 保存・公開の必要性

知事への提言書等と同じ章立てとして、保存・公開の意義や必要性を記載する。

### 第3章 基本計画の目的と位置づけ

- 1 目的  
保存・公開を行うにあたって、整備の目的を記載
- 2 位置づけ  
本計画に則って整備していくことを記載
- 3 保存・公開の対象  
第32軍司令部壕各坑口、坑道が対象
- 4 上位計画と関連計画  
新・沖縄21世紀ビジョン基本計画  
新・沖縄21世紀ビジョン実施計画  
首里城復興基本計画 その他

## 1 第4章 壕の保存・公開に係るこれまでの取組

- 2 (1) 那覇市（昭和 37～38 年）、沖縄観光開発事業団（昭和 43 年）による発掘調査
- 3 (2) 旧 3 2 軍司令部壕試掘調査業務（平成 5～6 年度）
- 4 (3) 第 3 2 軍司令部壕維持管理業務（平成 7 年度～）
- 5 (4) 第 3 2 軍司令部壕保存・公開基本計画（平成 9 年 10 月）
- 6 (5) 第 3 2 軍司令部壕対策事業（平成 24 年 2 月）
- 7 (6) 第 3 2 軍司令部壕保存・公開検討委員会設置、提言書の手交（令和 5 年 3 月）
- 8 (7) 第 3 2 軍司令部壕保存・公開基本方針策定（令和 5 年 7 月）
- 9 (8) 第 3 2 軍司令部壕詳細調査（令和 4～5 年度）※調査内容のみ記載

10 ※「第 3 2 軍司令部壕詳細調査」の調査結果は「第 5 章」で説明する。

## 12 第5章 壕の現況把握と課題

### 13 1 第 3 2 軍司令部壕の現況

14 令和 4 年度以降の詳細調査において新規に確認された事項、第 1～第 5 坑口・坑道の概要、  
15 国・県・市・民有地が混在する土地所有者との権利関係や整備主体について説明する。

### 16 2 公開・整備上の課題

17 第 3 2 軍司令部壕の各箇所を対象として、現況、周辺環境、詳細調査結果を踏まえた課題  
18 を挙げる。

## 20 第6章 文化財指定への取組

### 21 1 文化財指定の要件

### 22 2 文化財指定の手続き

### 23 3 遺跡評価の調査

### 24 4 文化財指定に伴い生じる効果および制限

25 文化財指定後は、最も強い保護措置（現状変更の制限等）が執られる。

26 また、文化財指定後に整備する際は、遺構のオリジナル部分が確認できる状態（真実性  
27 の担保）とし、さらには元に戻せる手法（可逆性の担保）を用いる方が望ましい。

28 壕内で現状の改変を行う場合は、地上の史跡に影響を与えないことが前提となる。

29 実態調査を踏まえ、文化財指定の段階的な申請を検討。

# 1 第7章 保存・公開の計画

2 保存・活用を行うにあたり、実態調査を踏まえ段階的な整備・公開を検討

3 壕内部の公開方法の一つとして映像・画像・記録の活用も検討

4 公開にあたっては安全性に十分配慮することが前提

5 加えて、周辺環境への影響、財源確保の側面も考慮しながら検討

6 段階的に整備を行った後の管理・運営方法を検討

7 継続的な保守・点検方法を検討

## 8 1 保存・公開方針

9 第5章で整理した箇所毎の課題を受けた対応方針を示す

10 公開整備を進める区間、保存整備を進める区間、公開整備と保存整備の両方を進める区  
11 間等に区分することを想定

## 12 2 公開整備計画

13 公開整備を進める箇所の整備計画を整理

14 公開整備イメージパース図と概算整備費用を整理

15 具体的な公開整備のイメージを描ける箇所についてはイメージパース図等を記載

16 現時点で具体的な公開整備イメージが描けない（継続した調査・議論が必要な）箇所は  
17 文言のみの説明を想定

## 18 3 保存整備計画

19 保存整備を進める箇所の整備計画を整理

## 20 4 維持管理計画

21 公開整備及び保存整備箇所ともに維持管理計画を整理

## 22 5 運営管理計画

23 県直営または指定管理者制度の活用、料金徴収の有無などの運営管理計画を整理

## 24 6 今後の調査方針

25 今後も第3 2 軍司令部壕の全容把握にむけた調査を進めていく方針を記載

### 26 (1) 文献調査

27 第4 坑口等の位置が未特定な箇所は文献調査を主体に調査を継続

### 28 (2) 現地調査

29 文献調査で精度が高まった際には、現地調査を実施することと、その手法を記載

30

1 **第8章 壕の活用及び平和発信・継承**

2 1 文献資料等を活用した平和発信・継承

3 2 平和教育・学習への利活用

4 (1) 展示活動

5 (2) 平和交流活動

6 3 広報・PR活動

7

8 **第9章 計画の効果的な推進**

9 計画を着実に推進するために、関係機関による連絡会議の設置などを記載

10

11 **資料**

12 用語解説 他